

週刊住宅新聞 2014年6月9日

タイトル

リノベ市場シェア拡大競争、専門・流通大手・総合不動産、成長分野に参入相次ぐ

記事概要

住宅・不動産業界では、住宅再生事業を成長戦略の柱に据える動きが活発だ。人口減少に伴い市場が縮むことを懸念する各社がフローからストックに軸足を移す。国家戦略として掲げた中古住宅流通・リフォーム市場を2020年までに20兆円規模にまで倍増する目標は、これまで積極さを欠いていた大手デベロッパーをリノベーションへの”本格参戦”に駆り立てた。

住宅を再生して購入することは、景気回復を実感できない低所得者層の受け皿としての役割は依然として根強いが、ライフスタイルの多様性も中古住宅に目が向き始めた理由だ。新築住宅に比べて割安な点を生かし、個々の生活スタイルに合わせて大規模改装する。こうした層の存在感は確実に高まっている。

中堅のトーセイは、稼働中の賃貸マンションにリノベーションを施して区分所有で販売する方法に先鞭をつけた。「リスタイリング事業」として手掛け国内外の投資化とともにファンドを組成して大型物件も取得する。入居者が退去した部屋から順に販売するほか、入居中の部屋を投資物件としても販売する。入居中は賃料収入を、空室になった場合はキャピタルゲインの双方を得るビジネスモデル。投資用不動産としての販売では、アジアなど海外投資家からの引き合いが増えている。

※当社掲載記事のご紹介は、当社をご紹介いただいた記事の掲載内容を要約したものです。
情報源となる記事の一切は、トーセイ株式会社が作成したものではありません。

トーセイ株式会社 経営企画部

東京都港区虎ノ門4丁目2番3号 虎ノ門トーセイビル

Tel 03-3435-2864 Fax 03-3435-2866

URL:<http://www.toseicorp.co.jp> Mail:pr-tosei@toseicorp.co.jp